昭和31年8月6日第三種郵便物認可
社団法人日本専門新聞協会加盟紙

かごしま 建設新聞

株式会社 鹿児島建設新聞
発行人 大迫純隆
鹿児島市錦江町3番36号
電話 099－227－5100番
FAX 099－225－1919番
振替口座 02020－5－2558
ホームページ
http://www.kc-news.co.jp

primaXcell
県知事許可（般）第八一二九号
遊具・公園施設等の企画設計施工
円柱材（パーマエクセル）加工・販売
ログハウスの御用命は!!
㈲有元木材化工
工場 鹿屋市串良町中山
TEL（〇九九四）㊸八三二四番

県、魅力ある観光地づくり事業

錦江湾周辺トレッキングロード整備構想
来月以降に策定へ

県は、平成23年の九州新幹線全線開業に向け、18年度から「魅力ある観光地づくり事業」を進めている。今年度は、事業費10億円を投入し錦江湾岸や霧島、指宿地区等の主要観光地の街並み空間や沿道修景、案内標識等の整備を計画、10月以降に錦江湾周辺のトレッキングロード整備構想策定に着手する。また、案内掲示板や道路標識などの工事も順次発注していく見込みだ。

大隅・鹿屋地区のサイン整備等も

県は、同事業を「にぎわい回廊整備」、「かごしまサイン整備」、「自然公園整備」の3事業に分類。事業費は、にぎわい回廊整備に約6億5000万円、かごしまサイン整備に約3億2000万円、自然公園整備に約3000万円を充てる。

整備計画によると、にぎわい回廊整備では、霧島市や指宿市の景観整備等をはじめ、錦江湾周辺のトレッキングロードの整備を予定。このうち霧島市では、温泉街（旧牧園町）を中心とした国道や県道沿いにモミジの植栽（1000本以上）を行うほか、ガードレール整備、道路や霧島トレッキング歩道の補修等を計画している。モミジの植栽およびトレッキング歩道の整備は、10月以降に観光課からの発注を予定。ガードレールについては、発注時期等の検討を行っている。なお舗装工事は、加治木土木事務所から4工区分けで発注済み。

指宿市では、指宿駅前から温泉街、摺ケ浜周辺の整備を計画。10月以降、測量設計等の発注が見込まれる。なお、今年度は測量設計のみで、19年度から本格着工する見込み。このほか、錦江湾周辺の構想の策定や九州自然歩道の補修等の整備も盛り込まれている。

かごしまサイン整備では、大隅・鹿屋地区等での案内標識等の整備が中心。今後、各土木事務所等からの工事発注が見込まれる。自然公園整備では、霧島屋久国立公園の登山道の保全として、橋梁の架け替えなどを予定している。

コスト対策の裏側〝残コン・戻りコン〟

都市と地方部に格差
余裕発注が主因 求められる解決策

潮流

コスト縮減や環境対策への社会的要求が高まっている。いかに低コストで高品質のものをつくり、資源を有効活用していくか。現場では、悪戦苦闘の日々が続いている。

国土交通省ではこのほど、建設資材の流通実態に関するアンケート調査を行った。建設工事に大きなウエートを占めるコンクリートに視点を置き、全国の建設会社や生コン事業所等（各400社ずつ抽出）を対象に、「残コン・戻りコン」の発生状況等について調査した。

「残コン・戻りコン」とは、生コン事業所から出荷されたコンクリートが、何らかの理由によって現場で余ってしまい、処理される生コンクリートのことを指す。調査結果によると、全体の9割超の企業が「残コン・戻りコンが発生している」と回答した。「購入者（建設会社）が余裕を見て発注」することが主な要因で、その発生率は10年前と比較しても、あまり変わっていないのが実情だ。

コスト縮減への取り組みが進む中、なぜこの問題は今でも解決できていないのか！。その背景には、現場のトータルコストに対する懸念がある。関係者は「〝残量ゼロ〟を求めるのは、現実的に困難。追加発注による時間ロスや運搬費、人件費など総体的なコストを考えると、余裕を持って発注したほうがリスクを軽減できる」と口をそろえる。

現場で発生した残コン・戻りコンのほとんどは出荷側へ返却され、産業廃棄物として処分、または骨材（砂・砕石等）や再生路盤材、二次製品等として活用される。今回のアンケートでは、産廃処分の割合が未だ半数以上を占め、有効利用に関する取り組みがまだまだ必要だということを裏付ける結果となった。

現在、県内で稼働する生コン工場は約100カ所。年間出荷量は、1工場当たり約2～3万㎥を見込んでいるが、残コン・戻りコンの発生量は、1現場でわずか0・5㎥にも満たないレベルにある。発生抑制という観点からは、十分な数値といえる。県生コンクリート工業組合の技術委員会副委員長を務める佐伯貢氏（エスピー生コン㈱取締役工場長）は、「この発生量は、現場の工事規模や運搬等の時間的制約の部分とも関係する。渋滞を避けられない都市部と地方とでは、発生するメカニズムが違う」と、その格差について分析する。

近年、県内を含めた地方部では小刻み注文が増加し、残コン・戻りコンは減少傾向にあるという。大都市での状況が、発生率が停滞する最大の要因なのか。解決に向けては、「現場担当者の必要数量の把握」や「発注数量の徹底管理」が大前提となるが、現場と出荷側の両サイドが、この問題に関して共通の認識を持っておくことは極めて重要である。コストを削減し、限られた資源をいかに有効活用していくか―。この社会的要求に対する取り組みは、決して建設会社と生コン事業者に限った話ではない。業界それぞれが抱える大きな課題である。

（田原謙一・報道編集部総括主任）

鹿児島営業所新設
25日、立地協定式

コンドーテック

土木・建築資材メーカーのコンドーテック㈱（菅原昭社長、本社・大阪市）は、霧島市の鹿児島臨空団地内に鹿児島営業所を新設する。建物面積は延べ1309㎡。事業費約2億7000万円を投入し、11月にも着工する。

東証2部・大証2部上場の同社。現在、全国39カ所の営業所等を有し、インフラ・環境関連資材を広く供給している。主な商品では、昭和60年に国内初のJIS表示許可を取得した「ターンバックル」や「足場吊りチェーン」などがある。

開設予定は19年3月。新設に伴う立地協定式が25日午前10時30分から、霧島市役所で行われる。

県林務水産部工事執行状況
8月末で50・3％

県林務水産部は、8月末現在の公共工事執行状況を公表した。契約金額は98億4400万円、契約率は50・3％となっている。

完工高順位（18年3月期）
トップは弓場建設

本紙では、18年3月期決算企業を対象とした県内大臣および知事許可業者の1年間の完工高をまとめた。トップは43億3375万円で弓場建設、2位が39億9247万1000円でMBC開発、3位が24億5363万7000円で三井ホーム鹿児島となった。

（6・7面に完工高5000万円以上の企業を掲載）

鹿児島県法面工事業連合会
≪事務局≫
鹿児島市新栄町21-11（㈱ナカムラ内）
☎・FAX（099）206－6113番
☎（099）255－2215番（非常用）

㈱ 熊建
鹿児島市松原町一－一二
☎（〇九九）二二四－〇一九一番

㈱ ナカムラ
鹿児島市新栄町二－一－一一
☎（〇九九）二五五－二二二五番

㈱ 二チハツ工業 ㈱ 鹿児島営業所
鹿児島市小野二丁目一－二二
☎（〇九九）二二〇－一三一二番

㈱ 葉月工業
鹿児島市吉野町三二五二－一七六
☎（〇九九）二四四－五九七七番

㈱ 西日本緑化
薩摩川内市平佐町四六七八－一
☎（〇九九六）二三－二九二三番

㈱ ロードテック
鹿児島市上之園町二二－一四
☎（〇九九）二五四－五〇五八番

有限 内田工業
大口市木ノ氏一一〇六番地
☎（〇九九五）二二－五〇五〇番

㈱ セブン産業
鹿児島市花尾町三九九－二
☎（〇九九）二九八－二五四三番

㈱ 南和
鹿児島市平之町八－二九
☎（〇九九）二二四－〇三五五番

㈱ ニチテク
姶良郡姶良町平松二六一七－一
☎（〇九九五）六四－五二六七番

㈱ 第一地研開発
川辺郡川辺町清水五〇四五番地
☎（〇九九二）五六－五二八一番

有限 大成緑化工業
鹿児島市郡元三丁目一－二
☎（〇九九）二五八－二五四八番

有限 タイセイ技建
鹿児島市唐湊一丁目三三－七
☎（〇九九）二五〇－五六一一番

㈱ エイト
姶良郡姶良町船津一六二四－一
☎（〇九九五）六五－七五四〇番

有限 津曲建設工業
霧島市福山町福山五五五九－一六
☎（〇九九五）五六－一七〇二番